



国際交流員カロリンのコラム

海に夢中なドイツ人 Sehnsucht nach dem Meer (ゼーンスフト ナフ デム メアー)



夏休みの時期がやって来ましたね！ドイツ人は、夏になると暑い地域の海が恋しくなります。ドイツの北の方にも海がありますが、夏でも泳ぐには水が冷たすぎるし風も強いのであまり行きません。それに、勤勉で真面目なドイツ人は、おおらかで人生を楽しもうとする情熱的な南ヨーロッパのライフ・スタイルに憧れているので、海と言えば地中海です。

観光局のアンケート調査によると、ドイツ人の2人に1人が夏休みは海でゆっくりと過ごしたいと回答しています。中でも人気の第1位はスペインです。地中海の気候は、気温が高くて湿気が少なく、海からの心地よい風が吹くのでとても過ごしやすからです。

私も、子どもの頃に毎年家族とスペインに行きました。すぐ隣に住んでいる従兄が、スペインの東の方にあるオリバーという町に別荘を持っていたので、夏休みのうちの3週間はそこで過ごしました。

その別荘は山の上にあったので、海を眺めることができました。

私の住んでいたザールランドからオリバーまでは、フランスを越えて行かなければならないので、車で19時間もかかりました。

暑いスペインでは、家や別荘にプールがあるのが一般的です。

従兄の別荘にもプールがあって、毎日朝食の前に泳ぎました。

お昼までは観光や買い物を楽しんで、昼食の後はスペイン人のように「シエスタ」という2時間くらいの昼寝をして、またプールで泳いで過ごしました。



夜は近所の人たちと集まって、一緒に夕食の準備をして時間を気にすることなく食事を楽しんで、夜中までおしゃべりをしたりゲームをしたりしました。本当に素敵な思い出です。その頃から、私も海が大好きなドイツ人のひとりになりました。



ドイツ人は、海について「夏休み」、「静養」、「癒し」というイメージを持っています。なぜなら、海で泳いだり日光浴をしたり、砂のお城を作ったりしてのんびりと過ごすことで、日常を忘れてリフレッシュすることができるからです。

私は三重大学に留学したことがありますが、そのとき、キャンパスのすぐ近くに海があったので本当に嬉しかったです。学生専用の砂浜があったので、友達とバーベキューや花火をしたり、買い物帰りに海沿いを歩いたり、海を眺めてお団子を食べたりしました。ひとりでもよく海に夕暮れを見に行きました。波の音を聞きながら、とても幸せな気持ちに包まれました。

栃木県には海はありませんが、例えば隣の茨城県の海に出かけることができますね。でも、ドイツ人が憧れの地中海に出かけるためには、時間をかけて国を越えて行かなければなりません。だからこそドイツ人にとって海は特別な存在で、強く心をひかれるのです。



TAKE FREE

広報しもつけを設置協力いただけるコンビニエンスストアなどのお店を募集しています。

ご協力いただける場合は総合政策課 ☎0285 (32) 8886 情報広報グループまでご連絡ください。

PC・スマホ
市ホームページ

